

# ずっと安心して暮らし続けられるまちに

一人一人に寄り添うタカサキの高齢者福祉



高齢者の居場所を家族や介護者にお知らせ

## はいかい高齢者救援システム

問 介護保険課 ☎321・1250、各地域の高齢者あんしんセンター

市は、高齢者が行方不明になったときに、いち早く発見し、保護するために「はいかい高齢者救援システム」を運用しています。

行方不明者の通報が入ると、市が委託した見守りセンサーが、GPS（衛星測位システム）機器を利用して高齢者の現在地を確認します。緊急連絡先として登録された家族や介護者に、居場所の位置情報を電話やメールで通知。状況に応じて、同センターの

職員が現地に向かい保護します。24時間365日体制で対応しています。

機器の貸し出し、  
捜索や保護は無料です

対象は、市内に在住で、徘徊の心配のある65歳以上の高齢者がいる家族や介護者です。介護認定は必要ありません。

申し込みは、介護保険課が各地域の高齢者あんしんセンターへ。

安心の「お守り」は  
小さなGPS機器

システムの利用者の1人が双葉町に住む樋口八郎さん。妻の祺枝さんの認知症が進み、2年前から、外出したまま家に帰れなくなることがあったそうです。区長からシステムを教えてもらい、すぐに申し込み。ある日、友達と出かけると言ったまま夜まで戻らず、見守りセンサーに連絡。職員がすぐに現在地を教

市は、全国に先駆けた新しい高齢者福祉に取り組んでいます。GPSを使って早期発見・保護につながるはいかい高齢者救援システム、介護の困りごとに即時に対応する介護SOSサービス、栄養バランスの取れた食事を届ける配食サービス、食料品や日用品の買い物を手伝う買い物代行。今回号では、お年寄りと家族の暮らしを応援する本市の取り組みを紹介します。



高齢者あんしんセンターやあんしん見守りシステムなどの取り組みは、本紙10月1日号で紹介しました



システムを利用している樋口さん夫婦と、娘の典子さん（左）

「はいかい高齢者救援システム」は、高齢者はもちろん、家族の負担を和らげる、頼れる「お守り」です。

### GPS機器は小型で軽量、携帯方法はさまざま



持っている人の位置が確認できるGPS機器は、大きさは縦44mm×横37mm×厚さ12mmで、重さ約30g。かばんや靴\*に入れたり、つえやベルトに付けたりして持ち運べます。1回の充電で、数日～1週間連続して使えます

\*靴の場合、専用の靴の購入が必要

### Interview



自分らしく自由に暮らすためのお守り

ケアサポートセンター  
ようざん栗崎 所長

小笠原 信二さん

デイサービスなどで通っている利用者さんに、このシステムをお勧めしました。利用者さんが自宅からいなくなったと連絡を受けると、このGPSですぐに居場所を確認してもらい、迎えに行っています。これがなければ、見当のつかないまま探さなければいけないので、本当に助かります。機器は小型で軽いので、持ち歩くのに負担が少ないですよ。自分らしく自由に暮らすためのお守りですね。



お弁当を届けながら体調なども伺います

高齢者の自宅に栄養バランスの良いお弁当を届ける「高齢者配食サービス」。土・日曜日を含めた朝昼晩の3食に対応しています。3食対応は全国でも数少ない取り組み。定期的な安否確認や見守りにもつながっています。利用には介護保険の手続きが必要です。各地域の高齢者あんしんセンターに相談してください。

## 食事の用意が難しい人の栄養をサポート 高齢者配食サービス

問 長寿社会課 (☎ 321・1319)  
各地域の高齢者あんしんセンター

●対象 市内に在住の65歳以上で、一人暮らしや高齢者だけの世帯などで、自分や家族が食事の用意をするのが難しい人  
●1食あたりの費用 朝食200円、昼食・夕食各350円

詳しくはこちら▶



### Interview 利用者の声を紹介

野上 サダさん (倉洲町三ノ倉)

栄養バランスが良く、おかずもいろいろな種類があって、いつもおいしくいただいています。調理をするのに立っているのも大変だし、ガスの消し忘れとかの心配も減るので、本当に助かっています。皆さん、お勧めですよ。



電話1本で介護する家族を手助け

## 介護SOSサービス

問 長寿社会課 (☎ 321・1319)

②家族などの介護者が介護の手助けが必要な状況にある介護者が市外に住んでいる場合も利用できます。

### サービスは訪問と宿泊

いずれも、費用の支払い方法は、申し込みの際に確認してください。

#### 訪問サービス

介護福祉士などが原則2人で訪問。利用者を確認し、必要なサービスを提供します。宿泊サービス

#### 宿泊サービス

短期の宿泊で食事や入浴を提供します。社会福祉法人新生会(中室田町)とニューサンピア(島野町)の2か所が利用できます。着替えや洗面用具など宿泊に必要な物は、利用者が用意してください。

#### 申し込みは専用ダイヤルへ

申し込みは、下記のご利用専用ダイヤルへ。24時間365日、介護の専門職員が対応します。利用者の健康状



### Interview 利用者の声を紹介

遠藤 秀子さん(右)と夫の功さん(小八木町)

電話1本で、どんな時間でもすぐに来てもらえます。車いすの介助や着替えなどをしてもらい、助かります。とても心強いですよ(秀子さん)

家で過ごす時間が一番落ち着けます。本当にありがたいサービスですね(功さん)

詳しくはこちら▶



GOGO! にじゅうよじかん

## 介護SOSサービス ご利用専用ダイヤル

# ☎ 360-5524

\*介護の専門職員が必要な情報を聞き取り、訪問、宿泊サービスを手配します

### 訪問サービス

- 内容：食事の準備・調理、見守り、入浴や排せつの介助、通院など外出の同行、掃除や洗濯、買い物、衣類やシーツの交換や洗濯など
- 費用：1時間 250円
- 利用回数：1か月5回まで

### 宿泊サービス

- 内容：短期の宿泊、食事、入浴
- 費用：1泊2食付き 2,000円  
1泊2食・送迎付き 3,000円
- 利用回数：1か月3回まで  
(1回の利用は2泊まで)
- 入館時間：午前8時から午後8時まで

### 日常の買い物をボランティアが代わりに行う

## 高齢者等買物代行事業

問 長寿社会課 (☎ 321-1248)

買い物に不自由している人たちに代わって、ボランティアが買い物に行く「高齢者等買物代行事業」。市と市社会福祉協議会が実施しています。

ボランティアが利用者の依頼を受けて、食料品や日用品を購入。買い物代行に見守りを合わせることで、買い物以外に抱える利用者の心配ごとを知るきっかけにもなります。利用には、事前の登録が必要です。

申し込みは、市社会福祉協議会 (☎ 370-8855) か各地域にある同協議会の支所へ。

- 対象 = 市内に在住で、高齢者など日常的な買い物に困っている人
- 費用 = 1回 100円

### 生活に欠かせない買い物の不安を解消

自転車での買い物に不安を感じていた鹿野好枝さん(昭和町・上



(5) 高崎市役所 ☎ 027-321-1111



季節ものなどお店の情報交換も楽しみの一つ

写真右)は「食料品の買い出しをお願いしています。重い荷物を運ぶのは危なくて。生活に必要なサービスですよ」。担当するボランティアの島津利枝さん(浜尻町・上写真左)は「利用者さんの希望を細かく確認することを心がけています。買い物に困っている人がいたら、ぜひ利用してほしいですね」と話します。

### あなたの力を貸してください 高齢者の暮らしを支えるボランティアを募集中

買い物代行を行うボランティアを募集しています。希望する人は、市社会福祉協議会か各地域にある同協議会の支所へ問い合わせてください。

市社会福祉協議会ホームページ▶

